

北部地方振興事務所

NNだより

出来川左岸上流地区(農地整備事業調査地区)

「農地整備事業の予算確保を」大崎地区県営ほ場整備事業推進協議会が農林水産省と財務省、自民党本部に予算確保に関する要望活動を実施！



平成29年5月29日、「大崎地区県営ほ場整備事業推進協議会(9土地改良区)」は、農林水産省、財務省、自民党本部に対して、農地整備事業の予算確保に関する要望活動を実施しました。山本農林水産大臣や木原財務副大臣、二階幹事長、両省の幹部職員に対して、氏家会長と伊藤大崎市長、大橋涌谷町長より要望書を手渡しました。大崎地域の競争力のある農業の実現に向け、その基盤となる農地整備事業実施に必要となる平成30年度の当初予算での確保について強く要請しました。併せて、大崎耕土が日本農業遺産に認定され、世界農業遺産の国内審査を通過したことについても報告しました。

色麻小学校5年生、宮崎小学校6年生が田植え作業に挑戦！

【色麻小学校】

平成29年5月17日、色麻町立色麻小学校の5年生68名が学習田で田植え作業を体験しました。生徒のみなさんは、色麻土地改良区、色麻町農業委員会、色麻町公民館、農業生産法人めぐりカッパ、地域農家の方々から苗の植え方の指導を受けながら、昔使われていた農具「杵回し」で印を付けたところへ田植えを行いました。この体験学習は色麻土地改良区の21世紀創造運動の一環として10年ほど前から継続して行われています。

ビオトープに投げ植えをしました！
投げ植えをした苗はメダカの
産卵場所になります



杵回しを使ってまっすぐ
印をつけていきます



もち米「みやこがね」を
植えました！

【宮崎小学校】

平成29年5月24日、「石母田ふる里保全会(加美町宮崎)」が多面的機能支払活動の一環として、加美町立宮崎小学校の6年生16名を対象に、水田の生態系や環境保全活動に関する学習会を開催しました。生徒のみなさんは、「農村地域の豊かな自然と調和した環境農業」や田んぼに生息する生き物などについて学んだ後、「杵回し」を使った田植えや苗を投げて植える田植えの方法“投げ植え”に挑戦し、昔から伝わる伝統的な農業を体験しました。



「大崎地域の農業・農村(産業行政)に関する郷土研究講座」のキックオフミーティングを開催！

平成29年6月15日、北部地方振興事務所の主催により大崎地域の農業・農村に関する郷土研究講座キックオフミーティングが開催されました。この講座は昨年度から始まり、入庁5年目程度までの若手職員(約20名)を対象に、地域の農林水産業、商工業などの産業振興を担当する職員が、先人の遺業や蓄積された知識・経験(温故知新)について調査・研究活動を行うものです。キックオフミーティングでは、参加者の自己紹介、講座概要についての説明を受けました。

■平成29年度調査研究テーマ■

- ①大崎西部の大崎・伊達統治の足跡探訪(宮崎・小野田方面)
- ②奥州黄金文化と箕岳山振興の文化探訪(涌谷・美里方面)
- ③仙台伊達家家臣の要害地等探訪(松山・三本木・色麻方面)



郷土研究講座に対する
各人の意気込みを発表！

「農業農村整備事業に係る新しい技術」について研修を受けました！

平成29年度第1回北部地方振興事務所農業農村整備部職員研修会が平成29年6月15日に行われました。今回の研修では、農業農村整備事業に係る新しい技術に関して一般社団法人宮城県測量設計業協会よりご説明をいただきました。新技術の例として、TLS(地上型レーザースカナ)やMMS(車載写真レーザー測量システム)、UAV(無人飛行機)の概要や利活用について説明を受けた後、それらを実際に操作する様子を見学しました。



MMS(車載レーザー測量システム)
走行しながら建物、道路の形状・周辺の3次元位置情報を高精度で取得することができます！

☆新規採用職員の紹介☆

農地整備第二班
技師 藤倉 早希

よろしくお祈いします！！



宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部

〒989-6117 宮城県大崎市古川旭四丁目1番1号(宮城県大崎合同庁舎内)

TEL 0229(91)0701(代)

FAX 0229(23)5014

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/>

編集:計画調整班

